

魚と泳げる手のひら水族館

湯元啄木亭 AR活用 スマホに再現



AR技術による画面を泳ぐイカやクマノミなど、記念写真や撮る宿泊客(藤井泰生撮影)

きる。花火については宿泊客限定で、客室のQRコードを読み込めば、スマホの画面を押した回数の花火が打ち上がる。

茨城県から全国高校総体(インターハイ)のハンドボール競技に出場するために来函した高校1年の国仙優叶さん(16)は「スマホを動かすたびにいろいろな種類の魚が出てくる。クマノミがかわいい」と笑顔を見せた。現在のサービスは10月末まで、終了後も順次内容を覚えて実施する予定。

(足立結)

函館・湯の川温泉の「湯元啄木亭」(湯川町)は、館内でスマートフォンのカメラを立ち上げると、魚が泳いでいたり、花火が打ち上がる様子が画面に合成される拡張現実(AR)技術を使ったサービスを始めた。「見るだけでなく、一緒に画面に入って楽しんでほしい」としている。

同ホテルの創業35周年を記念した新たなサービス。館内や客室の窓から中庭や周りの景色と重ねることで、「写真映えするスポットをつくることができ。サービスは、1階ロビーの机に置いたQRコードをスマホで読み込んで利用する。カメラを立ち上げる、イカやブリ、色鮮やかな熱帯魚が泳ぐ姿が見られ、同ホテルの西村望さん(36)は「水族館で魚と一緒に泳いでいるような感覚を楽しんで」と話す。日帰り入浴客など一般の来館者も利用で